

【こども支援部会】

1. 部会の開催状況等

(1) 第 1 回部会 7 月 4 日（月）10 時から 12 時

（中間報告済み：再掲） 鎌倉福祉センター福祉団体活動室で開催

（協議事項）

① 部会長及び副部会長の選出

齊藤宇開委員を部会長に三井圭子委員を副部会長に選出した。

なお、委員構成は以下のとおり（6 名）

- ・ 齊藤 宇開部会長 . . . たすく株式会社代表取締役
- ・ 三井 圭子副部会長 . . . 社会福祉法人ラファエル会鎌倉地域支援室相談支援専門員
- ・ 田中 香織委員 . . . 鎌倉市こどもみらい部発達支援室.室長
- ・ 吉原 正人委員 . . . NPO 法人鎌倉はっぴーくらぶ はっぴーわん代表
- ・ 渡部 みどり委員 . . . 鎌倉市教育委員会教育指導課指導担当担当係長
- ・ 渡会 鮎美委員 . . . 神奈川県立鎌倉養護学校支援担当

② 28 年度の検討課題について

- ・ 障害児の就学前から 18 歳到達までの現状を知り、鎌倉市におけるサービスに繋がるプロセスと、ニーズ毎の対応窓口等について、理解共有できる手立てを検討し、形にしていく。
- ・ 教育機関で活用されている支援シートに倣い、福祉機関として発見からアセスメント、支援経過等が親と支援者間とで共有できるツールについて協議する。

(2) 第 2 回部会 9 月 5 日（火）10 時から 12 時

（中間報告済み：再掲） 鎌倉福祉センター福祉団体活動室で開催

（7 月以降、鎌倉市基幹相談支援センターが事務局に参加）

（協議事項）

① 「サポートファイルかまくら」について

- ・ 市発達支援室で、平塚市、伊勢原市の先行事例を参考に情報共有のツールとして 600 部作成し、28 年度から本格的に配布を始めているが、活用方法をさらに検討していきたいと考えている。（主に、支援の必要な方、説明して希望される方を対象に配布）
- ・ それぞれの事業所で作成する記録が反映できるような工夫があれば良いのでは。
- ・ フェースシートの作成が重要であるが、保護者の負担は大きいと思う。支援が必要であり、使える状態にしておくことも重要である。
- ・ サポートファイル（フェースシート）は、就学相談に活用できると思う。
- ・ 始まりの時にサポートファイルがあることを必要とすることが浸透・定着に繋がる。行政の課題と思うが、ステートメントへ進んでいかないと定着は難しいのでは。

②「支援シート」について

- ・フォーマットが県から提供されて学校で下書きし、保護者が完成して原本を保管している。3年毎に見直し、卒業時に作成したものは中学校に引き継いでいる。
- ・記載できない親への対応ができていない。また、中学校卒業以降のフォローがない。
- ・サポートファイルがあれば、支援シートと一緒に使えるのではないかな。
- ・生活の面の情報は、事業所と共有すべきでは。

③ 鎌倉市における障害児支援のフロー図等（実態の把握）の作成について

○先行事例の検討

- ・平塚市 『地域療育システム事業』
- ・横浜市 『療育センターの標準的な対応フロー』
『地域療育センターを中心とした早期療育体制と他機関との連携』

○鎌倉市障害児支援のフロー図等の検討

- ・各機関の役割の違いが分からない。ネットワーク（繋がり等）が、誰が見ても分かるものが必要。
- ・課題を意識しながら、現状のフローを示すことが必要では。（見える化を進める。）
- ・医療のフローを網羅するような資料がない。医療との連携が課題である。

（今後の進め方）

- ・平塚市版を参考に、鎌倉市の現状を示すフロー図等を作成して検討・協議を進め、今年度中のまとめを目指す。
- ・活用方法等についての検討
- ・鎌倉市障害者福祉計画の改訂に合わせて、フロー図等の作成を通じて抽出された課題等について何らかの形でまとめ、市へ提言できるよう検討していく。

（3）第3回部会 11月28日（火）10時から12時 鎌倉福祉センター福祉団体活動室で開催（協議事項）

①「サポートファイルかまくら」の活用について

○関係機関向け説明会に向けた検討事項（案）

- ・横須賀市サポートブックのモデル事業を参考に関係機関向けの説明会用資料（案）の作成を進めていく。
- ・支援級での定着を図っていくため、鎌倉市教育研究会での周知を検討する。
- ・サポートファイルは親が作成することが前提だが、学校のことは先生に聞かなければとすることで結果的に負担が増えることを心配するのでは。そうした点の認識がどこまで共有できるかが課題ではないかな。
- ・行政が主体的に、保護者、行政機関（発達支援室、障害者福祉課、教育委員会等）、学校教育関係、就学前機関（幼稚園、保育園）に向けた啓発・周知が必要である。
- ・同時に、協議会としては、後方支援として、支援機関向けの説明会を開催する方向で検討していく。

② 鎌倉市における障害児支援のフロー図等（実態の把握）の作成について

○障害児支援のフロー図（素案）について

- ・サポートファイルの存在をフロー図の中に示していく。
- ・子ども相談課、市民健康課、医療機関（鎌倉市の現状では示せないことを記載する）、県総合療育相談センター等の専門機関も含めて入口の流れ等を整理して示すなど修正を行い、次回の部会で再度（案）を検討する。

③ 鎌倉市障害者福祉計画策定にあたっての協議会の意見の検討について

○ 鎌倉市障害者福祉計画の改訂について

○ 地域の課題と取り組みの方向性

- ・協議会からの提言（案）の作成を目指して、各専門部会の所掌ごとに検討する
- ・平成 25 年度以降の全体会及び部会の記録から地域課題を抽出する
- ・抽出した地域課題から市の施策として反映するべき事項を整理する
- ・整理された事項について、提言の内容や方向性を検討する

（4）第 4 回部会 2 月 23 日（木）13 時から 15 時 鎌倉福祉センター福祉団体活動室で開催（協議事項）

① 「サポートファイルかまくら」の活用に向けて

○ご家庭・教育・福祉の連携のために＝説明会資料（案）の検討

横須賀市サポートブックのモデル事業を参考に関係機関向けの説明会用資料（案）を下記の項目で作成した。

- ・相談・支援手帳（ファイル）について
- ・サポートファイルとは？
- ・支援シートとは
- ・サポートファイルによる つなぎのイメージ
- ・サポートファイルが必要な背景
- ・こども支援部会で目指すサポートファイル
- ・本人・保護者を中心にした支援
- ・サポートファイルの活用について

② 障害児支援のフロー図（案）について

- ・これまでの検討成果等を基に最終的な作成を進めてもらうことを市へ提言していく。

③ 鎌倉市障害者福祉計画改訂に向けた取り組みについて

○地域の課題、現状と取組みの方向性等

○ 意見（提言）の素案（施策として、実施・検討すべき事項）

- ・提言（案）の主な項目及び考え方等については、基本的に了承された
- ・全体会としての提言（案）へのまとめは運営会議で行う

④ 第 3 回全体会への活動報告内容について

2. 「サポートファイルかまくら」の活用に向けて説明会用資料の作成

- 別添（資料4－1）を参照

3. 鎌倉市障害者福祉計画の改訂に向けた取り組みについて

- こども支援部会で抽出した地域の課題（資料8：参照）

4. 平成29年度の主な（当面の）協議予定事項

- 「サポートファイルかまくら」の活用に向けて
＝ご家庭・教育・福祉の連携のために＝説明会資料の作成
- 「サポートファイルかまくら」の活用による連携の促進について

他